

アサガク防犯教室を実施してみませんか？

地域の防犯ボランティアの皆さんが、登校時の見守り活動をした後、朝学習の10分間の時間を活用して、防犯教室を行う「アサガク防犯教室」を実施する小学校を募集します。

応募後には、県、学校、地域等で打ち合わせを行い、その後、県から送付された教材パネルを利用し、防犯教室をおこなっていただきます。令和4年度には、あいさつ運動と合わせて、学校と協力しながら実施する地域もありました。

地域の方による防犯教室は、児童の安全意識の向上につながるだけでなく、児童と地域の方との、お互いに顔が見える関係づくりにもつながっています。



活動の様子（玉野市立田井小学校）



防犯教室パネル



防犯ボランティアの皆さんも見守り活動している小学校で、「アサガク防犯教室」を実施してみませんか？



入学・進級おめでとう！みんなで子どもの安全を守りましょう

4月は、学校園の入学（園）の時期です。新入学（園）生の慣れない登下校で、子ども達が犯罪、事故に巻き込まれないよう、登下校時間帯に合わせて買い物や庭の水やりを行うなど、「目配り」「気配り」「明るいあいさつ」で子ども達の安全確保にご協力をお願いします。

【関連行事】

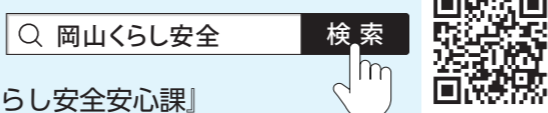
岡山市内等の小学校が新学期を迎える、4月7日（金）午前7時30分から、県・県教育委員会・県警察が、企業や大学生ボランティア等にご協力いただき、岡山駅前後楽園口付近で、「入学・進級おめでとう！子どもの安全確保街頭啓発キャンペーン」を行います。



お問い合わせ

岡山県 県民生活部 暮らし安全安心課 / 電話 086-226-7259
〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号 / FAX 086-225-9151

〈メールアドレス〉 anzenanshin@pref.okayama.lg.jp
〈ホームページ〉 <https://www.pref.okayama.jp/>
(岡山県) ▶ 組織で探す ▶ 県民生活部「暮らし安全安心課」



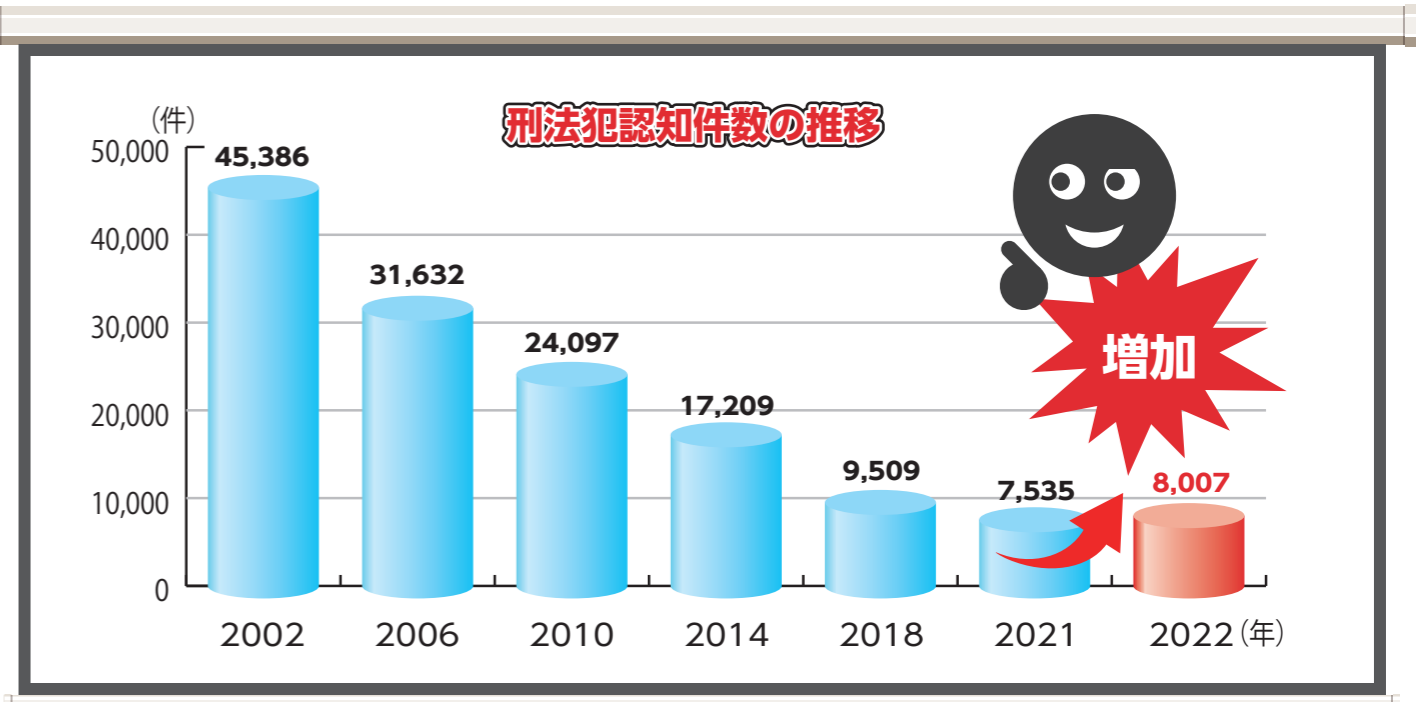
安全は地域のきずなとあなたの意識

20年ぶり

2022(令和4)年

刑法犯認知件数増加

治安のバロメーターと呼ばれる刑法犯認知件数(岡山県内)は、2002(平成14)年に過去最悪の45,386件を記録し、以降は19年連続で減少し続けていましたが、2022(令和4年)は、8,007件(前年比+472件)と20年ぶりに対前年比で増加しました。



◆発生が増加した犯罪の種類

- ▶ 自転車盗 2,007件(+359件)
- ▶ オートバイ盗 188件(+81件)
- ▶ 車上ねらい 353件(+53件)
- ▶ 空き巣 197件(+54件)
- ▶ 出店荒し 76件(+46件)



※カッコ内は前年からの増加数

◆◆ 県民のみなさんへのお願い ◆◆

発生が増加した自転車盗などでは、鍵をかけていない状態で被害に遭うことが多いです。鍵かけは防犯の基本なので、例え短時間であっても、確実な施錠をお願いします。



令和4年中岡山県のまとめ 特殊詐欺被害まとめ

年間被害件数 **159** 件 年間被害額 **約3億1,640** 万円

手口 キャッシュカードを狙った手口が多発

警察官や金融機関職員を名乗った犯人が被害者方へ電話をかけ、「カードが不正使用されているので交換が必要だ。」などと言って自宅まで来た上で、**キャッシュカードをだまし取ったり、盗み取ったりする手口**（預貯金詐欺、キャッシュカード詐欺盗）が全体の**約4割**を占めました。



被害者 8割以上が高齢者

被害者の**約8割**を**65歳以上の高齢者**が占めています。また、男女別では、**約8割が女性**となっています。つまり、**高齢の女性**が被害者となるケースが非常に多かったこととなります。しかし、男性も被害に遭っていますので男性の方も注意してください。



きっかけ 自宅の固定電話から

犯人からの最初の接触方法は、はがき、メール、FAX等の様々なケースがありますが、昨年中はその**約8割が自宅の固定電話**から始まるものでした。電話では、相手が誰なのかを確認することがとても難しいので、相手の話を鵜呑みにすることなく、**お金の話・キャッシュカードの話**が出たら必ず**誰かに相談**しましょう。



対策 防犯機能付き電話の導入 留守番電話機能の活用

犯人からの最初の接触方法は固定電話が約8割であることから、犯人の電話に出てしまわないためにも、着信音が鳴る前に電話相手に自動で録音することなどの警告を発してくれる**防犯機能付き電話**を導入しましょう。また、在宅中でも**留守番電話機能**を活用することも効果的です。



電子マネー 詐欺多発!!

で支払いをさせる

「電子マネーで支払いをして」は詐欺!

▶ サポート詐欺

インターネット閲覧中に「ウイルスに感染しました。」などとウイルス感染を警告するポップアップ画面が出現し、中には音声や警告音を発するものや画面を操作不能にするものもあり、表示された番号に電話をかけさせます。電話をかけると、ウイルスの駆除名目で遠隔ソフトのインストールを勧められたり、ウイルス駆除代金として、電子マネーなどで支払いを求められます。

一言! ブラウザを閉じたり、パソコンを再起動してみましょう。表示された番号には絶対に電話をしないでください!

▶ 高額当選名目

携帯電話などに「〇億円の当選金があります。」「遺産を譲ります。」などとメールが送られてきて、当選金が受け取れるかのように装い、相手方と連絡を取ると「受け取るためには手数料が必要だ。」などと言われ、電子マネーなどで支払いを求められます。

一言! 自分で購入していないのに当選金をもらえることはありません! 甘い話には裏がある!

▶ 有料サイト未払金請求名目

携帯電話に実在する会社や似たような名前の会社等をかたる者から「利用料金の未払い金がある。」などと連絡を迫るSMSが送られてきます。信じて電話をかけてしまうと「有料サイトの利用料金が未納だ。」などと言われ、電子マネーなどで支払いを求められます。

一言! この手口は、支払いに応じると「サイバー保険」「損害賠償」「裁判費用」などと様々な名目で長期にわたり、次々と金銭を要求されるため高額被害化します。

お金の話は まず 相談!



「電子マネーカードを購入し、カード番号を教えて。」は詐欺です!
知らない相手から電子マネーカードでの支払いの話(お金の話)が出たらすぐに親族などの身近な人又は警察に相談して下さい!
冷静な判断が困難な場合でも、誰かに**相談**することで電話内容が詐欺であることを見破ることができる可能性があります。



電子マネー ここで言う電子マネーは、コンビニなどで販売している「〇〇ギフトカード」「〇〇ポイントカード」「〇〇マネー」などのことです。



県内各地で活躍されている防犯ボランティア11団体をご紹介します



犯罪のない安全・安心まちづくり

犯罪のない安全・安心まちづくり表彰式を開催

10月5日(水)、県庁3階大会議室で、「犯罪のない安全・安心まちづくり表彰式」を開催しました。式典では、安全・安心まちづくりの推進や特殊詐欺被害防止に特に功績があった個人や団体等の代表の皆さんへ、伊原木知事から表彰状が贈られました。



全国表彰を受賞されたみなさん



特殊詐欺被害防止表彰・功労賞を受賞されたみなさん



まちづくり賞・県民生活部長賞を受賞されたみなさん

犯罪のない安全・安心まちづくり知事表彰

◆ 功労賞

- 西大寺わんわんパトロール隊
- 水島地域安全推進員協議会福田交番班
- 黒崎駐在所管内自主パトロール隊
- 三谷地区防犯協議会パトロール隊
- 唐松・広瀬防犯組合連合会
- 北房地域青パト隊
- 野瀬富士子 (岡山西地域安全推進員協議会榑津駐在所班)
- 平田 英雄 (ご近所スクラム隊迫川分校区自治会)
- 高木 順子 (北畝一丁目町内会青色パトロール隊)
- 福武 勇 (乙島東自主パトロール隊)
- 丸川 忠 (総社地域安全推進員協議会総社西班)
- 内藤 利夫 (高梁警察署管内成羽町パトロール隊)
- 西村 茂 (真庭警察署管内地域安全推進員湯原班)
- 掛水 光男 (佐良山学区青少年健全育成会)
- 岡本 一郎 (あさひみまわり隊)

◆ まちづくり賞

- 下桑安全会
- 児島地域安全推進員協議会琴浦交番班
- 二万地区防犯パトロール隊
- 荏原っ子安全見守り隊青色防犯パトロール隊
- 北和気地区見守り青パト隊
- 萩原 設弘 (岡山中央警察署少年警察協働員会操南班)
- 久保 佳正 (清輝学区地域安全パトロール隊)
- 中田 昭久 (岡山西地域安全推進員協議会奉還町交番班)
- 大石 博文 (岡山西地域安全推進員協議会横井交番班)
- 安田 征治 (三・五区パトロール隊)
- 石橋 道明 (児島地域安全推進員協議会児島駅交番班)
- 瀧本 保 (倉敷警察署管内地域安全推進員中洲班)
- 吉田 晋 (総社地域安全推進員協議会山手班)
- 森元 弘士 (鏡野町奥津地域安全推進者協議会)
- 井川 敏夫 (高尾安全パトロールの会)

犯罪のない安全・安心まちづくり 県民生活部長表彰

- 岡山西地域安全推進員協議会大窪駐在所班
- 連島西浦小学校安全パトロール隊
- 寄島三ツ山自主パトロール隊
- 地域安全推進員湯原・禾津班
- 中原上町内会防災・防犯会
- 打穴見守り隊
- 嶋村 稔 (旭竜学区安全安心ネットワーク)
- 大森後藤治 (岡山東地域安全推進員協議会西大寺駅前交番班)
- 石原 知新 (津高防犯パトロール隊)
- 中田美代子 (第三福田小学校区見廻組)
- 上野 安是 (出部地区青少年を育てる会)
- 池田 喬 (川面地区子どもを守る会)
- 中曾 栄子 (新見警察署管内地域安全推進員新見駅前交番班)
- 本名 正義 (真庭警察署管内地域安全推進員禾津班)
- 梅本 正三 (鏡野町奥津地域安全推進者協議会)

特殊詐欺被害防止知事表彰

- (事業者) 第一生命保険株式会社岡山支社 株式会社鈴木屋
- (団体) 岡山県立岡山工業高等学校デザイン科 岡山県タクシー協会津山支部
- (個人) 植田 紗英



西大寺わんわんパトロール隊 (岡山市)

地域安全マップづくりに力を入れています

結成年月日 平成20年
代表 坂本 虎男氏

警察本部のわんわんパトロール隊の募集があったことや、岡山市の小学校2年生が行方不明となったこと、さらに津山市で小学3年生の女儿が命を奪われたことなど、治安に対する危機意識の高まりから、隊を結成しました。子どもの見守り活動では、隊員がお互いをカバーしながら、活動しています。例として、交通危険箇所定点監視をした後、最後尾の児童の通学班に同行して小学校に送り届けたり、最初から児童の通学班に同行し、通学班が集まる通学路の警戒を行い、児童を小学校に送り届けたりしています。通学路を警戒



している時に学校に行っていない児童を発見した場合は、学校に連絡したり、児童を小学校まで送り届けたりしています。私達は、地域安全マップの学習指導に特に力を入れています。小学校4年生を対象に、学校の授業として、通学路にはどのような危険があるのか、身を守るにはどうすればいいのかを考えてもらうため、通学路を確認しながら指導を行っています。年々隊員が減少し、後継者の確保と育成が近々の課題です。



水島地域安全推進員協議会福田交番班 (倉敷市)

情報交換と共有で安全安心まちづくり

結成年月日 平成9年頃
代表 平山 隆氏

水島地域安全推進員協議会福田交番班は、小学校、中学校を中心に付近地域のパトロール、防犯広報を活動の中心にしています。地域内にある広い福田公園は、木々が生き茂り、地域住民や公園を利用する人達の癒やしの場になっていますが、時に不良少年のたまり場となり、たばこの吸い殻やお菓子の食べかすなどが捨ててあるのを見つけることがあります。そのため、公園周辺のパトロール活動をして、警戒を強化しています。また、わが地域は、交通の便が良



く交通量の多い地域です。児童の下校時間帯を中心に見守り活動をして、児童が事故に遭わないようにしています。地域の安全維持は各地域の情報交換と共有がかせません。会議や各種イベントを通じて情報収集し、活動の参考としています。気になることは、班のメンバーの高齢化に伴い構成員が減少傾向にあることです。



黒崎駐在所管内自主パトロール隊 (倉敷市)

渚百選の景勝地、沙美海岸地域で

結成年月日 平成16年頃
代表 原田 直樹 氏

私達の活動する地域には、沙美小学校と南浦小学校の2校があります。小学校が2校あるので、沙美小学校区班と南浦小学校区班に分かれて活動をしています。沙美小学校区班は登校見守りと毎月1回の下校見守り、掲示板に特殊詐欺被害防止資料や、駐在所発行の「黒崎だより」の掲示をしています。南浦小学校区班は登校見守り、毎月1回の地区全域の見守り・安全確認活動・青少年健全育成活動、駐在所発行の「黒崎だより」の掲示をしています。地域の治安把握には、駐在所との情報交換が欠かせません。駐在所と連絡



を密にして不審者情報や高齢者の困りごとなどの情報共有を行っています。環境美化活動では、沙美海岸線などで清掃作業をして、ゴミがないようにしています。地域の課題は、社会問題にもなっている、空き家についてです。空き家が不良少年のたまり場になっていけません。一軒でも空き家を減らすため、他県の方などに移住してもらい、地域の一員になってもらいたいと考えています。



三谷地区防犯協議会パトロール隊 (矢掛町)

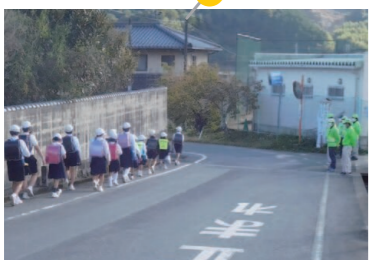
気楽に、気長に、危険なく活動が続ける

結成年月日 平成19年
代表 安藤 壽司 氏

私達、三谷地区防犯協議会パトロール隊は、将来を託す子ども達を守るの、われわれの使命であると考えており、青パトを使用して広い地域内をパトロールし、警戒を強めています。朝の児童の見守り活動はもちろんのこと、毎月第一、第三水曜日には、下校時の見守り活動を行っています。下校時の児童の見守り活動で小学校に行った時、1年生の児童から育てたアサガオの種を頂いたり、児童から「ありがとう」と感謝の言葉をかけてもらうことがあり、パトロールの励みになっています。地元関係機関との連携では、公民館の地域支援員を中心に小学校や駐在所、町役場担当者と情報



を交換し、連携して活動を行っています。小学校の挨拶運動など、地域の安全のために取り組める活動を増やしていきたいのですが、隊への加入者が少なく、いかに隊員を増やしていくかが課題です。これからも、隊員同士連携して、「気楽に、気長に、危険なく」をモットーにして活動をしていきます。



唐松・広瀬防犯組合連合会 (新見市)

連絡強化で、防犯力強化

結成年月日 平成10年
代表 中村 浩吉 氏

私達は、JR伯備線石蟹駅を中心に、開けた地域で活動をしています。年1回、6月に総会を開き、警察から特殊詐欺の被害に遭わないように研修を受け、1年の活動計画を策定します。また、年2回、7月と8月に7班に分かれて地区をパトロールしています。小学生が夏休みに入ると、市民センターを中心に合同でパトロールを行うなど少年の健全育成活動を行っています。春には、チューリップ祭り、夏にホテルの勉強会を開くなど、地域の特性を活かした活動



も行っています。また、新見南小学校、新見警察署、石蟹駐在所、新見市民センター、唐松まちづくり協議会、唐松婦人会、南部消防団などの地元関係機関と連携して活動をしています。地区では少子化、そして役員の高齢化が進み、段々と活動が難しくなっているのが現状です。地味ですが、この活動を続けて犯罪のない唐松・広瀬を守っていきたいと思います。



北房地域青パト隊 (真庭市)

北房地域で犯罪を起こさせないぞ

結成年月日 平成20年頃
代表 柿本 剛 氏

私達は、青パトを活用して広範囲にパトロール活動をしています。通学路における子どもの見守り活動では、青パトの回転灯を回し遠くからでも警戒をしていることが分かるようにしています。私達の地域では、ホテルのタベ in 北房や北房コスモ祭りなどのイベントがあります。イベントで地元の人や観光に来たお客さんに犯罪のない明るく楽しい時間を過ごしてもらおうと、青パトで出動して警戒を行いました。地元関係機関との連携では、警察官と一緒に特



殊詐欺被害防止のチラシをスーパーの前で配布しました。また交番との連絡協議会を開いて情報交換を行い、パトロール活動の参考としました。私達の地域から犯罪の被害者を出さないように、地域の住民と声を掛け合っています。私達の隊は、定年を70歳としていますが、高齢化が進み後継者不足です。後継者の募集と育成が一番の課題です。

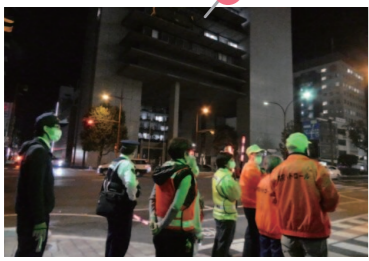


下桑安全会 (岡山市)

岡山中心地の治安を守る

結成年月日 平成24年頃
代表 那須 成夫 氏

私達の活動する地域は、JR岡山駅の南側にあり、岡山イオンモールや新しくできた「杜の街グレース」、企業ビルが建ち並ぶビル街と一般住宅、アパート・マンションが建ち並ぶ住宅地とが混在しています。毎月第4金曜日の夜間パトロールや、警察署・町内会と連携して防犯イベントに参加して各種犯罪抑止広報活動をしています。下桑安全会は地域を熟知した住民で



構成されています。地域を熟知していることは、地域の異変にすぐ気づくということで、地域住民や学校、警察、自治体に各種防犯情報の提供をしています。パトロールは地区内の見通しの悪い場所や、夜間暗い通りなどの危険箇所を重点的に行っています。私達の地域はショッピングや交通の便が良い地域です。利便性のいい反面、人が集中し、いつ悪い者が来て、凶悪事件を起こすか分かりません。日頃から地域の安全安心のために活動を続けていきます。

児島地域安全推進員協議会琴浦交番班 (倉敷市)

伝統文化が息づく地域を守る

結成年月日 平成7年
代表 石井 純一 氏

私達の住む地域は、岡山三大だんじり祭りで、県指定重要無形民俗文化財の鴻八幡宮例大祭が開かれるなど伝統文化が息づく地域です。この鴻八幡宮例大祭に役員として参加して犯罪防止に取り組んでいます。日々の活動は、児童の登下校の見守り活動が中心です。琴浦東小学校では、班員参加で全校児童との対面式を行っています。児童の対面式は、児童の顔を知ること



だけでなく、児童が困った時にすぐに相談ができる関係を築くのに有効だと考えています。児童と朝の挨拶をかわすことで、一日の活動のエネルギーをもらっています。年金受給日には、金融機関付近で特殊詐欺被害防止のチラシを配布するなどして被害防止の広報活動を行っています。地元の機関とは、年1回情報交換の場を設けており、緊急の案件があれば、早急に交番へ情報提供をします。今後の課題は、活動してくれる若い世代の担い手確保です。

二万地区防犯パトロール隊 (倉敷市)

歴史ある二万地区の児童を守る

結成年月日 平成18年頃
代表 中嶋 展久 氏

二万地区防犯パトロール隊は、二万小学校を中心に児童の安全安心のため活動をしています。二万という地名は、朝鮮半島での白村江の戦いで、二万の軍勢を出した地区ということで、二万と言われる説があります。いずれにせよ当時、真備地域は大きな勢力を持ち、朝廷と深く関わっていた歴史ある地区と言えます。真備の水害の際、小学校は高台で水につかることがな



かったのですが、地域の家には被害がありました。水害の後、地域のインフラ整備を進める中で、児童の安全のためには防犯機器の充実が重要だと考え、特に力を入れています。防犯カメラや防犯灯の設置、増設などでは、地域の方から感謝の言葉をもらいました。登下校時の見守り活動で、朝、児童と「おはよう」の挨拶をかわすと、今日も一日がんばろうという力が湧いてきます。

荏原っ子安全見守り隊青色防犯パトロール隊 (井原市)

顔見せ会で見守り力アップ

結成年月日 平成27年
代表 西山 定良 氏

私達は、青パト車によるパトロールや、児童の登下校の見守り活動を行っています。見守り活動では、小学校・中学校の登下校時に、交通要点箇所や通学路において青パトを点灯して警戒活動を行っています。行事として、青色防犯パトロール隊員と小学生との顔合せ会を年度始めの一斉下校時に行っています。顔合せを通して、児童を知ったり、児童から知られたりすることで、気軽に声を掛け合う関係ができます。パトロールをしていて児童から感謝の言葉をもらったり、高齢者の方から「ご苦労さん」とねぎらいの言葉を頂くこともあります。地元関係機関との連携では、年1回、地元の駐在所・中学校・小学校と連絡会を開催しています。連絡会で出された交通・防犯上の危険箇所などの状況を把握し、



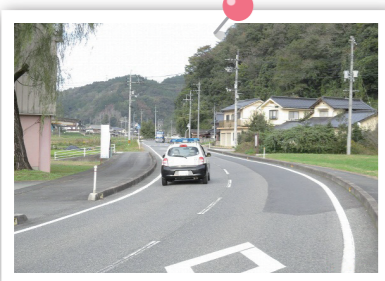
市に改善要望を行いました。地元企業に対しては、社員が通学路を通る際の安全運転の申し入れを行ったこともあります。また、学校から不審者情報があれば、パトロールを強化し、子ども達が安心して登下校できるよう活動しています。

北和気地区見守り青パト隊 (美咲町)

地区全域を把握して警戒を強化

結成年月日 平成27年
代表 赤堀 幸彦 氏

私達の活動する北和気地域は山間部の広い地域です。小学生の児童が少なくなり、小学校の統合で、遠くの小学校にスクールバスで通学するようになってきました。児童の見守り活動は、スクールバスで児童が降りてから自宅に帰る道を警戒しています。パトロールしていて帰宅途中の児童が手を振ってくれたりすると活動の励みになります。青パトを点灯しながらパトロールするのですが、巡回するコースには、小中学生がいないところもあり、そのような地域では、農作業する人や通行中の住民に声掛けしており、一般防犯活動や高齢者の見守り活動にもつながっています。ほぼ全域をパトロールするので、地域全体の様子が分かるというメリットがあります。また、町内の他団体と定期的に意見交換をして、地域の問題点を共有し、改善に努めています。脱会する人に、新しい隊員を推薦してもらうようにしているのですが、隊員の平均年齢の上昇によって、発足当時に比べて人数が減っているの、組織の若返りが今後の課題と言えます。



（この文章は上記の文章と重複しています）

ボランティア活動をされているみなさんへ

「安全・安心岡山県づくり県民会議」への登録はお済みですか？

「安全・安心岡山県づくり県民会議」には、子どもの見守りや防犯パトロールなど犯罪のない安全で安心なまちづくり活動を実施する団体が登録することができます。

会費無料の登録会員になると、活動の参考になる情報提供や活動中のけがなどに対する見舞金を受けられます（支給には審査があります。）。

なお、けがが完治するまでに長期間を要する場合には、治療期間が3か月を経過した時点で見舞金の支給申請ができます。

◎【登録会員のみなさんへ】.....

登録内容に変更がある場合は、変更のお手続きをお願いします。

県民会議の登録・変更・見舞金制度について、詳しくはくらし安全安心課のホームページをご覧ください。



安全・安心岡山県づくり県民会議 検索

子どもの安全を守るう！

地域安全マップ指導者講習会を開催



実際に歩いてみるといろいろな発見があるね！

10月8日（土）におかやま西川原プラザで、地域防犯ボランティアや教員等を対象に、「地域安全マップ指導者講習会」を開催しました。

講師には、立正大学の原田 豊 教授をお招きして、「聞き書きマップ」による身近な地域の安全点検」と題して、地域安全マップの理論と方法について、フィールドワークやマップづくりを通して実践的に学びました。次回は令和6年度の予定です。



原田教授による講義



「マップづくり」の様子

自主防犯パワーアップ講座も開催しました

1月28日（土）におかやま西川原プラザで、地域防犯ボランティア等を対象に、自主防犯パワーアップ講座を開催しました。

当日、株式会社ステップ総合研究所の清永奈穂氏を講師に迎え、「新・子どもの見守り実践方法～瞬間ボランティアと教育ボランティアで子どもをまもる！」と題して講義とワークショップを行いました。



清永奈穂氏による講義



ワークショップの様子

参加者は、県外の先進事例を聞いたり、防犯まちづくりにつながる取組のアイデアを出し合ったりしながら、今後の活動へのヒントを得ました。来年度も1月頃に実施予定です。皆さん、お誘い合わせの上、ご参加ください。

「子ども110番の家」支援事業

県では、JA共済連岡山にご協力いただき「子ども110番の家」支援事業に取り組んでいます。

本年度、JA共済連岡山から県へ「子ども110番の家」セーフティーコーン1,213本が贈呈されました。贈呈されたセーフティーコーンは県内の希望があった小学校79校に、配付されました。

小学校の児童たちは、日頃お世話になっている地域の方に、直接コーンを手渡したり、感謝の気持ちを伝えたりするなどして、地域の方との絆を深めています。

「子ども110番の家」支援事業は、地域全体で、子どもの安全を守ろうという機運の高まりにつながっています。



贈呈式（県庁）